舞鶴小学校
学 校 通 信
文責
校長 小林史治

羽ばたく子

2022. 1. 14 №10

※学校だよりのタイトル『羽ばたく』は，甲府市出身の宮沢和史さんに作詞作曲していただいた，舞鶴小学校の校歌の歌詞の一節です。「ふるさとを愛し、羽ばたく子に」なって欲しいとの願いをこめてタイトルとしました。

「本年もよろしくお願いします」

各ご家庭では、年末年始をどの様に迎えられたでしょうか。終業式で「振り返りと反省」の大切さを話し、始業式では「目標をたてる」ことの大切さを話しました。オミクロン株の広がりとともに２０２２年も新型コロナウイルスの影響は否めないでしょうが、昨年同様、少しでも子ども達の笑顔がふえるよう、職員一丸となって取り組んで参りたいと思います。保護者や地域の皆様におかれましては、本校教育へのご理解とご協力を「本年もよろしくお願い致します。」

行く年・来る年の子ども達

昨年も「コロナ」に追われた一年でした。２学期は、分散登校をせざるを得ないレベル２にまで警戒が上がりましたが、「できる範囲でできることをする」意識で取り組み、保護者や地域の皆様のおかげで、本校の教育活動は、また新たに一歩前に進むことができました。

■交通安全指導・町別登校班集会・集団下校

長かった２学期も終盤を迎える頃、子ども達は登下校の安全確認を「テレビ配信」の形で行いました。子ども達が自分で自分の命を守る取り組みは、何度行っても良いと思います。当たり前の事とは思わず、「左右の確認をして、車が止まるのを確認してから横断歩道を渡る。」など、市の交通安全指導員の方の説明を聞いて確認しました。

下校前に、町別に分かれて登校班ごとに集合場所や時刻などの確認をしました。本校は学区が広いので、集合時刻も幅がありますが、子ども達は現状を振り返って微調整をしていました。集会が終わると校庭に町別の班ごとで集まり、集団下校となりました。非常時以外の集団下校は、それぞれの学期の区切りを告げる活動です。高学年を先頭に歩く姿は、子ども達の成長を確認できるワンシーンでした。

■２学期終業式

今学期も終業式をテレビ放送で行いました。子ども達は、「陸上記録会が思い出に残った」など、今年を振り返って楽しかったこと、頑張ったことを発表してくれました。また、「来年はおじいちゃんに将棋を教わりたい」など新年の抱負を発表してくれました。教室では、２学期の「あゆみ」を担任の先生からもらっていました。もらった子ども達は、どこが良かったのか、見比べ合ったり、一喜一憂していたりしました。子ども達を玄関で見送ると、子ども達から「さようなら、良いお年を」「今年一年、ありがとうございました」と声をかけられ、「こちらこそ、ありがとう」と返しましたが、舞鶴の子の優しさに思わず気持ちが温かくなりました。

■３学期始業式

１７日間の冬休みも終わり、学校に子ども達の笑顔が戻ってきました。始業式に子ども達から新年の挨拶をもらったことや子ども達に大きな事故やけがのなかったことが嬉しかったことを話しました。代表の子からは「沢山の本を読みたい、漢字の勉強をしたい」など、新年に取り組みたいことが発表されました。また、始業式の様子をＵＴＹテレビ山梨が取材しました。始業式の後に、学級の様子を見に行くと休み中の取り組みや反省が出されていました。「スキーに行った」「家の仕事を手伝った」など、どの子も有意義な時間を過ごすことができたようです。また、廊下にいた６年生からは改めて「本年もよろしくお願いします」の挨拶をもらいました。子ども達の情感の深さに感心するとともに、「終わりよければ全てよし」の諺の通り、全ての舞鶴小の素敵な子ども達が有終の美を飾り、進学・進級していって欲しいと思いました。

読書月間

■図書委員会読み聞かせ

子ども達は読書が大好きで、特に読み聞かせの時には目をキラキラして聞いています。読書月間の期間は、ＰＴＡの読み聞かせボランティアの皆さんだけではなく、様々な読み聞かせがありました。

１つには「図書委員会による読み聞かせ」です。これまでは、コモンスペースに集まって行ったり、巨大絵本を放映したりしていました。今回は、事前にビデオ録画したものを学級に放映しました。読んでいる子は自分の姿を見ることができ、読みについても学ぶことができたと思います。

■先生の読み聞かせ

もう１つは、「先生による読み聞かせ」です。読み聞かせは、本の内容も大切ですが、以前にも記したとおり「どこで、誰が」も大切なポイントになるそうです。先生方も自分の学級でない子ども達へ読み聞かせをすることは、自分の学級以外の様子を理解し、改めて自分の学級を見直す機会にもなるので、良い経験になったと思います。

児童会役員選挙

児童会役員選挙で当選した候補者に当選証書が選挙管理委員長より手渡されました。正式には来年度からの活動になりますが、まずは「６年生を送る会」の運営に向けて取り組んでいきます。新年度に向けて、今から児童会の基本方針を決めたり、役員の分担を決めたりと忙しい日々が続きます。

個性を伸ばすために

子ども達は、習字・作文・ポスター・歴史研究・統計・新聞など、夏休みの間に様々な作品応募に取り組み、素晴らしい作品を仕上げたため、主催者側から「賞状」が送られてきました。また、秋に取り組んだ「陸上記録会」「図画工作大会」などの賞状も主催者か送られてきましたので、全校の子ども達に校内放送でお知らせしました。宮沢さんの「夢」についての話にもあったように、研究でも運動でも表現でも、様々なことに取り組んで自分の可能性を伸ばしていって欲しいと思います。

新春「どんど焼き」

１月１０日には、「春日地区２１世紀のまちづくり協議会」の皆様を中心に「どんど焼き」が実施されました。今年も残念ながら例年行っている校庭での餅つきや伝承遊びなどは行わず、「どんど焼きと紅白餅の配布」となりました。消防団の団長さんが点火し、お焚き上げが始まると、子ども達は自分の「書き初め」が高く上がるのを見送っていました。

今月の一コマ

← 12/３立会演説会

投票→

12/24　集団下校↑

HP には、子ども達の学校での様子も載せてありますので、こちらもご覧下さい。